

# 菊陽町復興まちづくり計画策定に係る住民アンケート調査

日頃から、町政の推進にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

菊陽町では、昨年4月に発生した熊本地震からの復旧・復興を早急に実現するために多くの災害関連予算を編成し、被災者支援や学校・道路の復旧、災害ごみの処理、農業施設の復旧など、さまざまな事業を行ってきました。

本町が熊本地震からの創造的復興を果たし、安全で安心なまちづくりを進めるためには、次の災害に備える必要があります。このアンケート調査で、地震のときの行動や今後の防災対策、地域での取り組みについて皆様のご意見を伺い、具体的な事業をまとめた「菊陽町復興まちづくり計画」を策定して、災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

ご多忙のところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

平成29年6月 菊陽町

## ご記入にあたってのお願い

- ・ **対象者**：菊陽町にお住まいの方の全世帯を対象にしています。
- ・ **回答者**：ご家族どなたでも結構です。ご家族で相談されてもかまいません。
- ・ **記入方法**：この用紙にボールペンなどで、直接ご記入ください。回答のほとんどは“○”で囲んでいただくようになっています。（ ）がある場合は具体的な内容をご記入ください。
- ・ **提出期限**：平成29年7月21日（金）までに提出をお願いします。
- ・ **提出方法**：同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずにポストへ投函してください。
  - ※このアンケートの集計作業等は、(株)URリンクージュに委託しております。
  - ※記入された個人情報適切に管理し、復興まちづくり計画の策定など復旧・復興以外の目的に使用することはありません。
  - ※調査票には、住所、氏名を記入する必要はありません。

問い合わせ先

菊陽町役場 総務部 総合政策課

担当：平、中島

住所：〒869-1192 熊本県菊池郡菊陽町大字久保田 2800 番地

電話：096-232-2112

※調査委託会社 (株)URリンクージュ

住所：福岡市中央区天神三丁目9番33号 (担当：瀬戸、仲田)

電話：092-713-9590

# 菊陽町復興まちづくり計画策定に係る住民アンケート調査

※記入の際はボールペンなどで、直接記入してください。

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

あなたご自身について、それぞれの項目の当てはまる番号に○をつけてください。

問1 あなたの性別を教えてください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問2 あなたの年齢は、次のどれですか。

1. 15～19歳	4. 40～49歳	7. 70～79歳
2. 20～29歳	5. 50～59歳	8. 80歳以上
3. 30～39歳	6. 60～69歳	

問3 あなたの家族構成に当てはまるもの全てに○をつけてください。

1. 未就学児	4. 高校生	7. 75歳以上
2. 小学生	5. 18歳以上64歳以下	
3. 中学生	6. 65歳以上74歳以下	

問4 地震発生時にあなたが住んでいた小学校区に○をつけてください。

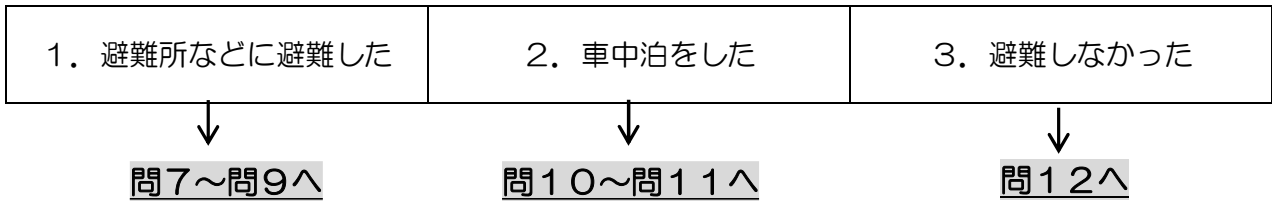
小学校区	行政区
1. 菊陽南小学校	井口、辛川、道明、曲手、馬場楠、戸次
2. 菊陽中部小学校	上中代、出分、中代、川久保、津留、大堀木、下原、宮ノ上、ひばりヶ丘、あさひヶ丘、津久礼ヶ丘、上津久礼、下津久礼、緑ヶ丘、緑陽台
3. 菊陽西小学校	三里木、三里木北、新山、境の松、新成、北新山、杉並台、青葉台、東ヶ丘、沖野、光の森6町内、光の森7町内
4. 菊陽北小学校	古閑原、入道水、柳水、馬場、鉄砲小路、長塚、新町、南方、光団地、中尾、駅前
5. 武蔵ヶ丘小学校	光の森（1町内、2町内、3町内、4町内、5町内）、 武蔵ヶ丘（1町内、2町内、3町内、4町内、5町内）、 南花立（杉の本地区のみ）
6. 武蔵ヶ丘北小学校	武蔵ヶ丘（6町内、7町内、8町内）、八久保、花立、 南花立（杉の本地区を除く）、向陽台、南八久保、にじの森
7. その他	地震後、菊陽町に移転してきた。 （地震時は菊陽町に住んでいなかった）

問5 地震発生時のお住まいは、次のどれでしたか。

1. 持ち家	2. 民間賃貸住宅	3. 公営住宅	4. その他（具体的に ）
--------	-----------	---------	------------------

**地震発生後の避難状況についておたずねします。**

問6 地震（前震）以降、ご家族の避難状況はどうでしたか。  
（ご家族の行動が異なる場合は、代表的な行動を記入してください。）



問7 避難された方におたずねします。どの場所に、何人で避難しましたか。

避難所など		何人で避難
1. 南部町民センター	11. 光の森町民センター	_____人 で避難
2. 菊陽中部小学校	12. ふれあい交流・福祉支援センター	
3. 菊陽中学校	13. 武蔵ヶ丘北小学校	
4. 老人福祉センター	14. 西部町民センター	
5. 東部町民センター	15. 地区公民館	
6. 三里木町民センター	16. 親戚・知人宅	
7. ふれあいの森研修センター	17. 町外の避難所	
8. 総合交流ターミナル さんふれあ	18. その他	
9. 武蔵ヶ丘小学校	（具体的に： ）	
10. 武蔵ヶ丘コミュニティセンター		

問8 あなたはどのような方法で避難所に向かいましたか。

1. 徒歩	4. 自動車
2. 自転車	5. 公共交通機関（バス、電車など）
3. バイク	6. その他（具体的に： ）

問9 避難所で避難生活を送る際に、足りなくて困ったことはどれですか。

(設備面) 特に困ったものを3つまで選んで○をつけてください。

- |                      |  |
|----------------------|--|
| 1. 広い屋内空間            | 9. 要配慮者(妊婦、子ども、高齢者、障がい者、外国人など)のためのスペース |
| 2. 駐車場               | 10. 手すり・スロープ                           |
| 3. 支援物資の保管場所         | 11. 掲示板などの情報提供設備                       |
| 4. トイレ(男女別、洋式・障がい者用) | 12. インターネット(Wi-Fi)環境                   |
| 5. シャワー・風呂           | 13. 公衆電話(携帯電話が繋がらないとき)                 |
| 6. ごみの処理             | 14. 携帯電話の充電器や電源設備                      |
| 7. 救護スペース            | 15. その他                                |
| 8. 一時保育、授乳スペース       | (具体的に: )                               |

(物資面) 特に困ったものを3つまで選んで○をつけてください。

- |                                    |                      |
|------------------------------------|----------------------|
| 1. 水、食糧                            | 7. 衛生用品(紙おむつ、生理用品など) |
| 2. プライバシー確保の仕切り用具<br>(段ボール・カーテンなど) | 8. 冷暖房器具(ストーブ、扇風機など) |
| 3. 照明器具                            | 9. 防寒具(毛布など)         |
| 4. 救急用品・薬                          | 10. テレビ・ラジオ          |
| 5. 簡易ベッド(乳幼児、高齢者、障がい者用)            | 11. 囲碁・将棋など大人向け娯楽用品  |
| 6. 車いす                             | 12. トランプなど子供向け娯楽用品   |
|                                    | 13. その他              |
|                                    | (具体的に: )             |

問9の回答が終わった方は、問13へ

問10 車中泊をした方におたずねします。どこで車中泊をしましたか。

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| 1. 自宅              | 6. 町内の商業施設 |
| 2. 道路上             | 7. 親戚・知人宅  |
| 3. 町内の公園           | 8. 町外の施設   |
| 4. 町内の学校           | 9. その他     |
| 5. 学校・公園以外の町内の公共施設 | (具体的に: )   |



「災害に強いまちづくり」に向けて、公園や道路、避難所などの公共施設の整備についておたずねします。

問13-1 熊本地震で多かった屋外での避難や車中泊への対応として、町では、防災公園の整備について検討しています。次の項目について、①～⑤のいずれかを選んで○をつけてください。

	とても重要	重要	どちらでもない	それほど重要でない	重要でない
1. 広いスペースを備えた防災公園の整備	①	②	③	④	⑤
2. 既存の公園への防災機能の追加	①	②	③	④	⑤

※防災公園とは…平常時は公園として利用しますが、耐震性貯水槽や備蓄倉庫などを備えることで、災害時には被災者支援の拠点となる公園をいいます。

問13-2 防災公園の機能として重要だと思うものはどれですか。特に重要だと思うものを5つまで選んで○をつけてください。

1. 車中泊ができる駐車場	7. トイレ・シャワーなどの衛生施設
2. 避難時にテントやテーブルが置ける広場	8. 炊き出しが可能なスペース
3. 耐震性貯水槽による飲料水供給機能	9. 雨や直射日光を遮る屋根付広場
4. 飲料水以外の生活用水の供給機能	10. 現状のままでよい
5. 支援物資の受入拠点	11. その他
6. 災害時に使う物資の備蓄倉庫	(具体的に： )

問14-1 大規模災害時には、熊本空港は重要な役割を果たします。熊本空港へのアクセスや災害時に利用する道路について、次の項目の①～⑤のいずれかを選んで○をつけてください。

	とても重要	重要	どちらでもない	それほど重要でない	重要でない
1. 町から空港へのアクセスの改善	①	②	③	④	⑤
2. 狭い道路の拡張	①	②	③	④	⑤

問14-2 災害時に道路を利用する際に有効だと思うものはどれですか。特に有効だと思うものを3つまで選んで○をつけてください。

1. 避難所や公共施設への案内表示の充実	5. 道路上の災害情報の提供
2. 防犯灯（街路灯）の整備	6. 自衛隊・消防など救援部隊の通行確保
3. 歩道の整備・拡幅	7. 現状のままでよい
4. 公共交通機関（バス、電車など）の運行	8. その他 （具体的に： _____）

問15-1 災害時には、町役場とその周辺が災害復旧活動の拠点となります。次の項目について、①～⑤のいずれかを選んで○をつけてください。

	とても重要	重要	どちらでもない	それほど重要でない	重要でない
1. 町役場の防災機能の強化	①	②	③	④	⑤
2. 中央公民館や町民体育館の再整備	①	②	③	④	⑤

問15-2 災害復旧拠点（役場周辺）または公共施設の防災機能として重要だと思うものはどれですか。特に重要だと思うものを5つまで選んで○をつけてください。

1. 支援物資の受入・配分機能	8. ヘリポート
2. 災害時に使う物資の備蓄倉庫の整備	9. おむつ替えなど乳幼児向けのスペース
3. 駐車場の確保	10. インターネット（Wi-Fi）環境
4. 自衛隊・消防など救援部隊の受入機能	11. 優先的につながる公衆電話
5. 救護部隊の受入機能	12. 現状のままでよい
6. 複数の手段による災害時の情報発信	13. その他 （具体的に： _____）
7. 住民票発行など通常の行政機能の維持	





## 自由意見欄

熊本地震の際に困ったことや、今後、町が進める「災害に強いまちづくり」に関して特に取り組んで欲しいことなど、ご自由にお書きください。

この度はアンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

ご記入いただいた個人情報 は適切に管理し、復興まちづくり計画の策定など復旧・復興以外の目的に使用することはありません。

ご記入いただいた調査票は、折り曲げて同封の「返信用封筒」に入れ、**7月21日(金)**までにポストに投函してください。(切手は不要です)